

2017年3月31日

省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度 『ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016』において GLホームが『優秀賞』と『優秀企業賞』をW受賞 GLホームの受賞は4年連続！

株式会社LIXIL住宅研究所
ジーエルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所ジーエルホームカンパニー(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)では、このたび、一般財団法人日本地域開発センター(主務官庁:国土交通省)が主催する、省エネルギー性の優れた住宅を選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016」において、GLホームの『Wood sHill(ウッズヒル)』が優秀賞を受賞しました。さらに、3回以上の連続受賞となるため「優秀企業賞」を同時に受賞しました。

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は、省エネルギーやCO₂削減等に貢献する住宅の普及と快適な住まいの実現に貢献することを目的に、建物外皮と設備を一体とした省エネルギー性と、販売実績や設計・施工における標準化といった普及性を評価し、優れた住宅を表彰する制度です。



評価基準は、(1)外皮・設備の省エネルギー性能値、(2)多様な省エネルギー手法の導入、(3)省エネルギー住宅の普及への取り組みの3つで、優秀と認められた住宅が表彰されます。

今回、優秀賞を受賞したGLホームの『WoodsHill(ウッズヒル)』は、断熱性・気密性に優れたツーバイシックス工法に制震システムをあわせた「ハイパーモノコック構法」をベースに、通風・創風などの自然エネルギーの活用、調湿機能のある内壁材の採用により無駄な電気の使用を抑えると共に、住まい手が快適に過ごせる工夫を取り入れた住まいづくりを提案しています。

◆受賞内容◆

カンパニー名	GLホーム
受賞名	優秀賞
商品名	「WoodsHill(ウッズヒル)」 <受賞対象地域> 3-6 地域※
特別表彰	優秀企業賞

※省エネルギー基準による地域区分



株式会社LIXIL住宅研究所ジーエルホームカンパニーは、GLホームの名前は、「Good Life, Good Living(グッドライフ、グッドリビング)」に由来します。このグッドライフ、グッドリビング(よき人生は、よき住まいから)を信条に皆さまに楽しく充実した生活をお過ごしいただくための、安全で快適な価値ある住まいを、生涯にわたってサポートしていきます。

【報道関係者のお問合せ先】

㈱LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明
電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com
GLホームホームページ:<http://www.glhome.lixil-jk.co.jp/>

本ニュースリリースは、本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて、広報発表しています。

【参考】GLホーム

優秀賞『WoodsHill(ウッズヒル)』(3-6地域)

「WoodsHill(ウッズヒル)」は、「美しく住まい、美しく暮らす家」をコンセプトに木造建築の世界基準であるツーバイフォー工法を日本の気候や風土に合わせて進化させ、さらに北米建築に見られる高いデザイン性、ゆとりを楽しむ暮らし方提案など、GLホームだからこそ実現できる「美しい品質」を備えた住宅です。

●建物外皮・設備機器について

断熱性・気密性に優れた暖冷房効率のよい基本仕様+制震システムをあわせた「2×6 ハイパーモノック構法」により、外皮平均熱貫流率は、屋根・壁・床・開口部とも地域の各基準値をクリアする 0.5W/m²・K以下を実現。暖冷房設備、換気設備等の設備機器は高効率機器を採用し、一次エネルギーの消費量を抑える取り組みを実施しています。

●多様なエネルギー手法の導入について

春や秋の季節の良い時期には自然の力を活かし、地窓・高窓、袖壁、通風建具、吹き抜けなどの工夫を用いた通風・創風(温度差換気)、採風・採光を行える「パッシブECOデザイン」の設計手法を用いて提案しています。水回りには節電・節水設備の採用により、普通に暮らすことが毎日のエネルギーの無駄を減らすことにつながっています。最新のテクノロジーで無駄をなくした家計にやさしいエコな暮らしを提案しています。

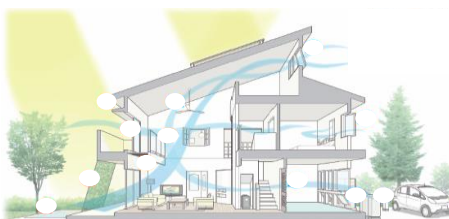
●省エネルギー住宅普及への取り組み

GLホームでは、光熱費・CO₂排出量シミュレーションなど省エネ住宅に住まうことのメリットをカタログや自社Webサイトなどで公開しています。また、消費者に分かりやすくZEHを紹介するため、オリジナルの「早わかりZEHBook」を制作し、ZEHの普及に努めています。

さらに、平時の省エネだけでなく、有事における家族の安全・安心やライフラインの確保の工夫など、万が一有事が発生したとしても、永く住み続けるための住まいの研究や実証実験を実施し、マスコミを通じて一般に公開するなど、様々な取り組みで省エネ住宅の普及に取り組んでいます。



<GLホーム「WoodsHill」外観>



<パッシブECOデザイン>

ゼロエネ住宅って何のコト?

●ゼロエネ住宅とは、2011年10月1日より定められた省エネ基準をクリアし、暖房・冷房・給湯・照明・空調・給電・給水のエネルギー消費量を削減し、太陽光発電システムを導入することで、年間エネルギー収支がゼロになる住宅です。ZEH(Zero Energy House)は、省エネ基準をクリアし、太陽光発電システムを導入することで、年間エネルギー収支がゼロになる住宅です。

●どうすればゼロになる?

現在のエネルギー消費量を削減し、太陽光発電システムを導入することで、年間エネルギー収支がゼロになる住宅です。

●ゼロエネ住宅のメリット

●ゼロエネ住宅のデメリット

項目	従来	ZEH
年間エネルギー消費量	約317,000kWh	約170,000kWh
年間電気料金	約54万円	約15万円
年間CO ₂ 排出量	約17,000kg	約8,000kg

●ゼロエネ住宅(ZEH)のメリット

●ゼロエネ住宅(ZEH)のデメリット

●早わかりZEH Book

<早わかりZEH Book>